

でい しょう
泥象

SUZUKI OSAMU • Image in Clay

鈴木治の世界



「使う陶」から「観る陶」へ

そして「詠む陶」へ

2014年

11月1日(土) → 12月23日(火・祝)

山口県立萩美術館・浦上記念館

休館日 ▶ 月曜日(ただし11月3日・11月24日・12月22日は開館) 開館時間 ▶ 9:00~17:00 (入場は16:30まで)

観覧料 ▶ 一般1,000(800)円 / 70歳以上の方・学生800(600)円

※ ()内は前売りおよび20名以上の団体料です。なお、18歳以下の方、および高等学校、中等教育学校、特別支援学校の生徒は無料です。

※ 前売り券は、ローソンチケット(Lコード 64676)、セブンチケット(セブンコード 033-639)、および県内各プレイガイドにてお求めになれます。

主催○鈴木治展萩実行委員会(山口県立萩美術館・浦上記念館、毎日新聞社、tysテレビ山口)、日本経済新聞社

後援○山口県教育委員会、萩市/協賛○野崎印刷紙業株式会社/特別協力○エフエム山口



山口県立萩美術館・浦上記念館
HAGI URAGAMI MUSEUM

雪の中の馬 1973年 京都国立近代美術館 (撮影:尾見重治)

泥象 SUZUKI OSAMU・Image in Clay 鈴木治の世界

2014年

11月1日(土) → 12月23日(火・祝)

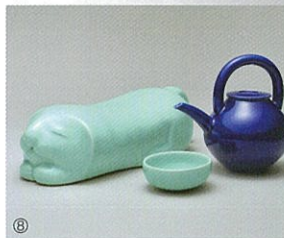
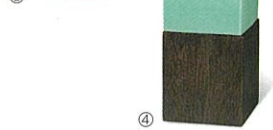
鈴木治(1926-2001)は、戦後の日本陶芸界を牽引した陶芸家です。千家十職の永楽工房で轆轤職人をしてきた鈴木宇源治の三男として京都・五条坂に生まれ、早くから父に轆轤の手ほどきを受けました。復員後、創作陶芸の新しい造形表現を目指し、1948年には山田光らとともに前衛陶芸家集団、走泥社を結成しました。器としての用途を持たず、純粋に立体造形としての芸術性を求めた彼らの作品は、人々に驚きをもって迎えられて「オブジェ焼」と呼ばれました。一方で、鈴木治の陶芸は、日常的な意味や用途が取り去られたときに現れる事物の物體的な側面をいう「オブジェ」ではなく、あくまでも土と火による表現としての陶の「かたち」に重点が置かれていました。その彼の作陶理念や陶芸そのものに対する思想は、「泥像」や「泥象」という作品名にあらわれています。

主に赤い化粧土を施した焼締めと、みずみずしい色合いの青白磁の二つの技法によって制作された鈴木治の作品には、馬や鳥などの様々な動物や、風や雲など自然現象のイメージから生み出された穏やかな「かたち」が、鋭い造形感覚で力強く表現されています。「かたち」と題名、そして観る者の抱くイメージが互いに呼応する鈴木治の独創世界は、文学的要素を強めながら年々いっそうの深まりをみせていきました。

没後初めての大規模な回顧展となる本展では、初期作品から晩年の未発表作品まで含む約150点で、作者が到った「〈使う陶〉から〈観る陶〉へ、〈観る陶〉から〈詠む陶〉へ」の足跡をたどります。

そして「詠む陶」へ

「使う陶」から「観る陶」、



- ①作品 1954年 (撮影:尾越健一) 東京国立近代美術館 (撮影:尾見重治)
- ②泥像 1965年 京都国立近代美術館 (撮影:尾見重治)
- ③縞の立像 1971年 楽翠亭美術館 (撮影:尾見重治)
- ④神経質な鳥 1975年 広島県立美術館 (撮影:オシマ・スタジオ)
- ⑤天馬横轉 1973年 岐阜現代陶芸美術館 (撮影:斎城卓)
- ⑥風の十字路 1982年 東京国立近代美術館 (撮影:尾見重治)
- ⑦連歌 1991年 福島県立美術館 (撮影:尾越健一)
- ⑧朱夏午睡 1998年 (撮影:四方邦照)

関連イベント

記念講演会〈講座室、聴講無料、申込不要〉

①「鈴木治の陶芸」

講師:中尾優衣氏(京都国立近代美術館研究員)
日時:11月1日(土) 14:00~15:30

②「先生を偲び、いま思うこと」

講師:十四代 今泉今右衛門氏(陶芸家、重要無形文化財「色絵磁器」の保持者〈人間国宝〉)
日時:11月15日(土) 14:00~15:30

ミュージアム・カンパニー〈参加無料(懇親会は別途会費が必要です)、申込必要〉

25歳以上の未婚者を対象とした、チャットスタイルの特別鑑賞会です。

司会:さいみゆき氏(フリーアナウンサー)

解説:石崎泰之(当館学芸課長)

日時:11月14日(金) 18:30~20:00

●懇親会(自由参加):同日 20:00~21:30、
patra cafe(パトラカフェ)、会費2,000円(軽食と1ドリンク付)
定員:20名(男女各10名、要事前申込・抽選)

●申込方法:往復ハガキに「氏名・年齢・住所・電話番号・懇親会の出欠予定」を明記の上、11月4日(火)までに下記までお申し込みください。申込者多数の場合は抽選とします。

〒758-0074 萩市平安古町586-1

山口県立萩美術館・浦上記念館「ミュージアム・カンパニー」係

ミュージアム・コンサート「愛と自然を歌う」〈エントランスホール、参加無料、予約不要〉

出演:有富美子氏(声楽家)

日時:11月1日(土) 17:00~18:30

※100名程度のお席を用意しています

学芸員によるギャラリーツアー〈展示会場、参加無料(要別途観覧料)〉

日時:毎週日曜日(ただし、11月9日を除く) 11:00~12:00

●会期中のイベント ※詳細については、美術館HPにてご案内します

ミュージアム・コンサート

〈エントランスホール、参加無料、予約不可〉

出演:Beans(サクソフォン:甲斐尚美氏、パーカッション:山根一彦氏、ピアノ:原田礼子氏)
日時:11月9日(日) 15:00~16:00 ※100名程度のお席を用意しています
協力:シンフォニア岩国

ワークショップ「石饅ねんどでつくってみよう」

〈展示会場ほか、参加無料(要別途観覧料)、申込必要〉

鈴木治の「泥象(土のかたち)」を鑑賞した後、石饅ねんどで自分の「かたち」をつくってみよう!

※完成した作品は各自お持ち帰りいただけます。

講師:鈴木啓二郎氏(現代美術家)

日時:12月14日(日) 13:00~16:30

①13:00~14:00 学芸員の解説を聞きながら、鈴木治の「かたち」を鑑賞。

②14:00~16:30 鈴木啓二郎さんと、石饅ねんどで自分の「かたち」づくり。

定員:20名(要事前申込・先着順)

●申込方法 電話(0838-24-2400)またはFAX(0838-24-2401)にて、参加者の氏名・年齢・住所・電話番号をご連絡の上、お申し込みください。定員に達し次第、締切りとします。



- 【新山口駅から】
 - 防長バスまたは中国JRバスで萩バスセンター下車 萩バスセンターより徒歩約12分
- 【山口宇部空港から】
 - 萩近鉄タクシー(集合タクシー)約75分(利用前日までに要予約)
- 【萩・石見空港から】
 - 萩近鉄タクシー(集合タクシー)約70分(利用前日までに要予約)
- 【自動車】
 - 「中国自動車道」美祿東JCT経由、「小郡萩道路」絵堂ICから約20分
 - 「山陰自動車道」三見ICから約10分、国道191号沿い
- 【JR東萩駅より】
 - タクシー約7分
 - 萩循環あーるバス約30分または徒歩約30分

山口県立萩美術館・浦上記念館
HAGI URAGAMI MUSEUM
〒758-0074 山口県萩市平安古町586-1 TEL 0838-24-2400
URL http://www.hum.pref.yamaguchi.lg.jp/